令和７年度 ケイアンドワイ

小規模多機能型居宅介護　サービス評価

◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画
知り得た情報や注意点は忘れず申し送りノートに記入し、その日不在のスタッフにも情報の共有ができるようにする。 新規の方への声掛けの時間が取れるように、不穏な方への対応はスタッフ同士連携を図りながら行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
情報共有の重要性を認識している一方、繁忙時にうっかり忘れてしまうことがあった。職員の対応に差が出ることがあった。不穏な方への対応には時間と工夫を心掛けて対応し、新規の方が不安を感じる様子があれば都度、解消できるように声掛けを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	8	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	10	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	7	6	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	9	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
共有すべき情報を速やかに申し送りノートに記載している。 体調、行動の変化をノートに記載するだけでなく、職員間で口頭報告を行っている。 新規の方には、慣れない場所で過ごす心情に配慮した接し方、声掛けをしている。 新規の方の戸惑いや落ち着かない様子などを職員間で伝え合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
申し送りノートに記載するのを忘れた。 万全な情報共有を図れず、統一した支援ができなかった。 コミュニケーション不足で情報収集が不十分だった。 ご家族と話す機会が少なかったことで、ご家族の思いを十分に知ることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
本人、家族とのコミュニケーションを密にし、困りごとや不安なことを聞き出して解消につながる支援をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	9 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画
ミーティング前に議題にするお客様を決め、個別担当者が中心になり意見を出し合うなど、本人の目標や希望について話し合う場を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
定期的に話し合いの場を設け、目標や希望について意見を出し合った。実際の関わりで実践した際、不十分と感じた場合は再度話し合った。目標や希望の完全な実現は難しいとしても、より近いものになるように話し合いを継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	9	2	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	6	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	8	1	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	6	4	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のコミュニケーションでお客様の希望を把握し、職員間で話した。 目標、希望に近い計画を立てて職員間で共有し、実現に向けた関わりをした。 ミーティング時に普段の様子、変化を話し合い、決まった内容を実行した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングの場で本人の目標、希望を話し尽くせなかった。 本人の目標、希望を理解することが不十分だった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
比較的容易に達成可能な目標を設定し、達成回数を増やすことで満足度を上げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	5 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画
朝の挨拶は一人ずつ笑顔で行う、介助の際には可能な限りコミュニケーションを図る事を意識する。 そこから、本人の気持ちを自ら話し易い関係を築く。

前回の改善計画に対する取組み結果
お客様一人ひとりに挨拶をしている。コミュニケーションを図ることで、スムーズで無理のない介助を心掛けている。話しやすいと感じてもらえるように笑顔で話しかけている。会話の機会を増やして良好な関係性を築けるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	1	11	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	6	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	10	1	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10	2	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
目を見て挨拶し、何らかの変化があれば気づけるように心掛けて接した。 表情や動作を観察した上で、その時に合った介助を行うようにしている。 声にできない声に気付けるように関わった。 変化等の情報を共有し、どの職員にも同じように話しかけられる環境を築けるようにした。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしについて 10 個以上を問われると即答できない。 言語化して情報共有をしているつもりだが、声にならない声を誤解したことがあったかもしれない。 体調の変化に注意を払っているが、即時的かについては自信がない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
自宅での生活環境、以前の暮らし方を把握し直し、少しでも当時の暮らしを再現する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	5 人	6 人	1 人	13 人

前回の改善計画
個別担当者が本人のこれまでの生活スタイル等を把握し、本人を支える社会資源について理解し共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人に関する情報の収集と把握、家族との連携には意識が及ぶ半面、地域資源についての理解は疎かった。 お祭りに参加して地域の方と触れ合い、楽しい雰囲気を味わってもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	10	2	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	7	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	7	4	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	7	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
申し送り、ミーティングで情報を収集している。 本人、家族との会話を通して情報を収集している。 家族と連携して受診などを行った。 買い物同行、ドライブ、外食等で外出の機会を作った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現在の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握できていない。 公園の隣の立地にもかかわらず、足を運ぶ機会が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
ミーティングで地域資源について話し合う機会を設けて理解する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4 人	7 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画
身体的・精神的な面で一日の中で変動する方などの対応等を統一化し、誰でも判断がし易いようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
統一した対応をするためにミーティングに限らず、業務中の口頭報告も行った。良化する変化についても日常会話で報告しあって共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	6	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10	2	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8	5	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	7	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

変化があれば口頭で職員に伝え、公休の職員にも漏れなく伝わるように申し送りノートに記載している。
統一対応で感じた変化についても情報を共有した。
ニーズに応じたサービス提供をしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源を絡めた支援はできていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

良い変化があれば職員間だけでなく家族とも情報を共有し、支援につなげられるように取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	3 人	5 人	3 人	13 人

前回の改善計画
地域の一員としての自覚を持てるよう、自治会の行事に順次スタッフが参加できるようにする。 地域の方々が立ち寄って頂けるような機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
避難訓練、一斉清掃で地域の一員として活動した。 医療創成大学の学生の訪問機会があり、事業内容を紹介した。 自治会館で開催した福祉用具展示会に協力した。 少しでも事業所を認識して頂くためにも地域の方々、事業所前を行き交う小中学校の生徒に積極的に挨拶をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	5	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	3	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	4	2	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	4	6	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人に合った福祉用具を使えるように、福祉用具事業所と会議を行った。 各種イベントに参加し、担当の役割を果たした。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現場職員が外部会議に参加する機会はない。 面会目的で高齢者の家族、友人が訪れることはあるが、それ以外の方の訪問を把握していない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
包括支援センター、自治会主催の行事活動を積極的に協力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	9 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画
お客様からの意見や苦情があり、改善した事柄をスタッフ全員が内容を把握し、同じ対応ができるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
意見にはすぐに対応している。対応に時間を要する場合には理由を伝えて納得してもらっている。申し送り以外にも職員同士の会話を通して同じ対応ができるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	6	3	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	9	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	5	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	2	7	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

会話機会を多くして、本人の本音を聞き出せるように話しかけている。
本人、家族からの要望があれば上長に報告して反映できるようにしている。
食べにくいと指摘された場合に、副食を刻んで提供している。
地域の清掃と避難訓練に参加した。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ミーティングの場ではお客様についての意見を述べることはあるが、事業所のあり方を話したことはない。
地域と協働できているのかが分からない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

事業所のあり方を見つめ直すために、地域と連携した取り組みである意識を持って関連行事に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	5 人	2 人	5 人	13 人

前回の改善計画
社外研修を受講し、スキルアップできるよう調整する。 地域連絡会についての勉強会を実施し理解を深め、今後の支援に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果
社外研修の参加は難しいが、リモートでの社内研修を実施して職員のスキルアップを図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	4	1	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	5	5	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	11	13
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	9	0	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月の社内研修を受講し、スキルアップしている。 危険予測をしながら介助に当たっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会に参加する機会がない。 社外の研修に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
開催情報を職員にアナウンスし、社外研修の受講実現に向けて参加を促す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　7 年　12 月　1 日（　18:00　～　19:00　）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	江尻・塩田・今井・柳沼・孫・遠藤・大和田・森田・熊田・佐藤・梅井・鈴木・国井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	6 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画
デイルーム内でのお客様の情報や名前を出しての会話は避ける。 申し送りでやむを得ない場合は、周りに配慮しながら行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
タブレット端末に表示された名前を指しながら申し送りし、個人の特定に繋がらないようにした。申し送りの際にはお客様から離れて、聞かれないようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	7	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	6	4	3	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
デイルームでの個人情報の会話はしていない。 声の大きさに注意して申し送りをしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個人名を出さずに申し送りをしていたが、内容がお客様に聞こえて質問されたことがあった。 小さい声で話し掛けたが、伝わらなかったために大きな声で話し掛けてしまった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
デイルームでの話し声が大きくならないようにする。	

令和７年度　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	（有）ケイアンドワイ	代表者	山名　文夫
事業所名	ケイアンドワイ小規模多機能型居宅介護	管理者	国井　公一

法人・事業所の特徴	公園に隣接、明るい環境の中、レクリエーションの充実、多くのボランティアの受け入れ等、楽しみのある生活を送れるようサービスを提供している。 個々のニーズに柔軟に対応し、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく生活出来るよう支援している。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	２人	１人	０人	１人	１人	０人	５人	０人	１０人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み･結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	「事業所自己評価の次回の改善計画」を年度初めに社内の個人目標に掲げ実行する。	目標達成者は次の目標設定に進み、達成に至らない者は原因を振り返って達成できるようにしている。	経験年数等で生じる個々のスキル差を埋めるために、本人と話し合いながら計画表を作成し、ステップアップとモチベーション維持を図ることを勧める。	本人と話し合って達成可能な個人目標を設定する。達成後は徐々に高い目標にし、これを繰り返すことでスキルアップを図る。
B．事業所のしつらえ・環境	家族の方が参加できるようなレクリエーションがある時は、早めに連絡し、参加を促す。	事業所内外の催し物の予定を家族に事前通知しているが、参加には結びつかなかった。	参加しやすい日程か、開催を理解できる内容での通知かを検討する必要がある。	平日だけでなく週末、連休期間中のレクリエーション開催を検討する。
C．事業所と地域のかかわり	介護相談が気軽にできる事を地域の方に情報発信できるようにする為にスタッフ間で話し合い、実行する。	自治会館で開催した泉ヶ丘くらし応援フェアの介護相談窓口として協力した。	今後もフェアの継続を望む。マルシェ、茶話会、カフェの開催で、地域の関わりを増やせるのではないか。	職員が交代で開催行事に参加して、地域の方と関わる機会を経験し、交流を深める。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	以前から利用していた店舗等に外出介助する事で馴染みの方との関係を絶たないようにする。	図書館、移動図書の利用を継続している。馴染みの店舗への買い物に同行支援している。	気力と体力を養うためにも外食、買い物支援と同様に、図書利用を継続実施したほうが良い。	図書利用を継続する。 公園に近い立地を活かして散策実施を増やす。
E．運営推進会議を活かした取組み	提案頂いた、研修の講師として包括支援センター職員の方の協力を得て研修を実施する。	秋に開催を予定していたが、開催体制が整わなかったため、実施できなかった。	実施に向けて検討して欲しい。	実現できなかった、包括支援センター職員の方を講師として招いての研修を実施する。
F．事業所の防災・災害対策	避難誘導訓練に近隣住民の方や運営推進会議の委員の方に参加して頂き、事業所の防災に関心を持って頂く。	運営推進会議の２名の委員の方に参加いただき、ご意見を頂戴した。	防災意識を高めるため、防火管理者の講習会に職員を参加させる機会があると良い。継続して防災、災害対策を立てて欲しい。	避難経路の確保を意識し、通路と出口に障害がないかを確認する習慣づけをする。